

# 阪堺線収支について

# 全路線（阪堺線、上町線）の収支について

- ・ 営業収益は、平成21年度に比べて、約68,249千円増加している。
- ・ 営業費用は、平成21年度に比べて、約83,124千円減少している。
- ・ 営業損益は、平成21年度に比べて、約151,373千円改善している。

## 平成27年度 軌道事業収支表

(単位：千円) 未満切捨

	全路線		大阪市内		堺市内	
	金額	対支援策開始前(H21)	金額	対支援策開始前(H21)	金額	対支援策開始前(H21)
<b>営業収益</b>	<b>1,272,888</b>	<b>68,249</b>	<b>1,016,541</b>	<b>11,746</b>	<b>256,346</b>	<b>56,504</b>
旅客運輸収入	1,192,205	77,148	955,149	17,923	237,055	59,225
定期外	956,777	130,630	752,985	69,431	203,791	61,198
定期	235,427	▲ 53,482	202,163	▲ 51,508	33,263	▲ 1,974
運輸雑収入	80,683	▲ 8,898	61,391	▲ 6,178	19,291	▲ 2,721
貸付料	8,997	▲ 6,600	5,607	▲ 1,037	3,389	▲ 5,563
広告料	46,485	▲ 1,293	33,557	▲ 2,926	12,927	1,634
構内営業料	15,647	▲ 4,217	14,712	▲ 4,579	934	362
その他雑入	9,552	3,211	7,512	2,364	2,039	847
<b>営業費用</b>	<b>1,460,665</b>	<b>▲ 83,124</b>	<b>1,020,135</b>	<b>▲ 119,766</b>	<b>440,530</b>	<b>36,643</b>
人件費	674,292	▲ 112,728	462,739	▲ 100,170	211,552	▲ 12,557
電車動力費	88,144	20,355	58,265	12,011	29,878	8,345
修繕費	380,898	▲ 30,539	279,769	▲ 42,614	101,129	12,076
物件費	48,611	6,885	34,190	3,323	14,420	3,563
経費	108,806	27,913	76,323	15,602	32,482	12,311
諸税	71,767	4,664	47,333	1,269	24,434	3,396
減価償却費	88,144	325	61,510	▲ 9,185	26,632	9,509
<b>営業損益 (堺市補助含まない)</b>	<b>▲ 187,777</b>	<b>151,373</b>	<b>▲ 3,593</b>	<b>131,513</b>	<b>▲ 184,183</b>	<b>19,861</b>

### (堺市補助)

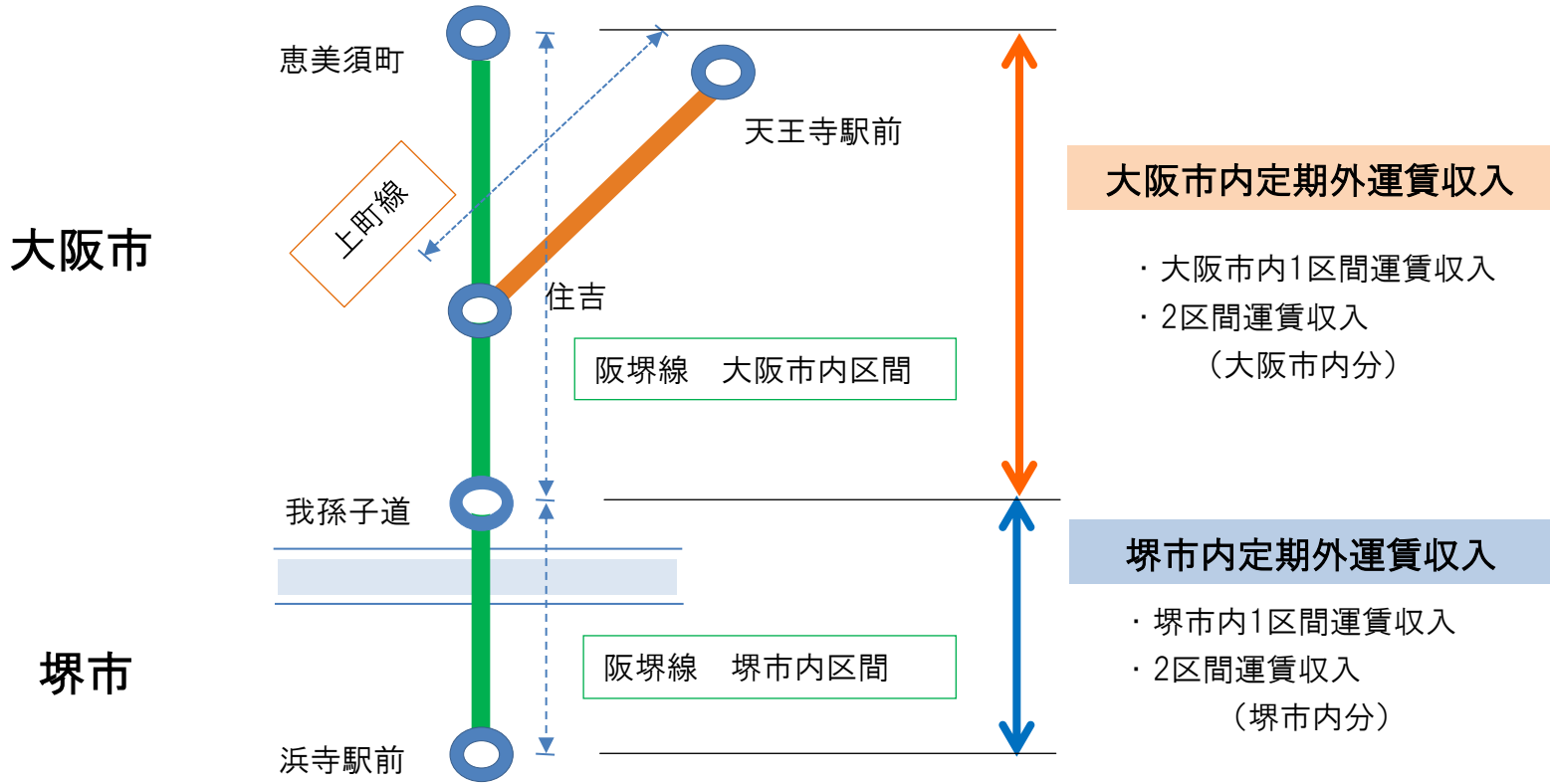
運賃施策への支援	117,755
周知広報への支援	12,245
施設保安・保守への支援	70,000
補助額合計	200,000
営業損益 (堺市補助含む)	12,223

※2区間運賃均一化(大人290円→210円)・高齢者運賃割引(100円)・堺おもてなしチケット等への支援が通年実施されております。

※施設保安・保守に要する経費への支援が通年実施されております。

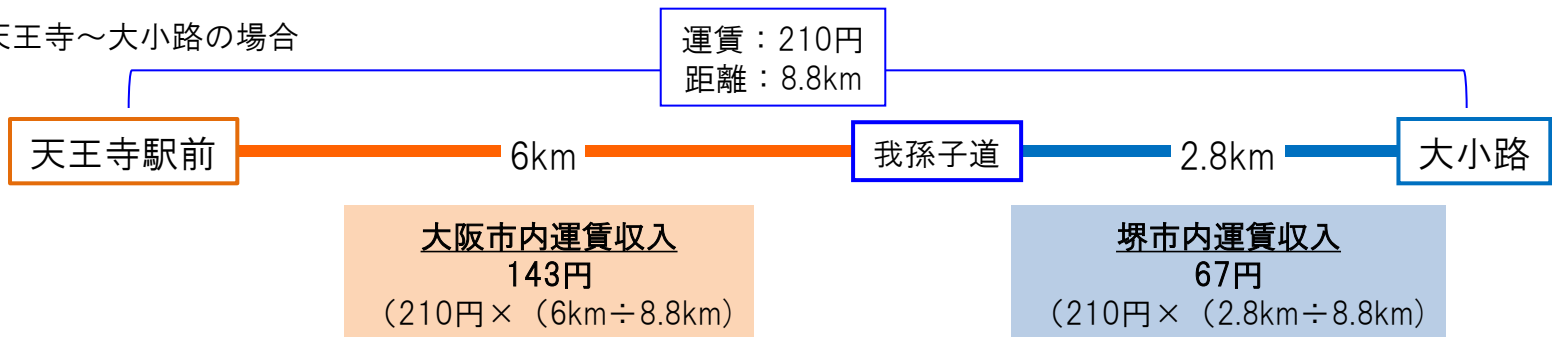
# 定期外運賃収入内訳（大阪市内・堺市内）

- ・ 2区間の定期外運賃収入は、大阪市内区間と堺市内区間を利用者が移動した距離の比率により割り振ることとしている。
- ・ 交通調査の結果から、大阪市内区間と堺市内区間の定期外運賃収入の比率は、約8：2としている。



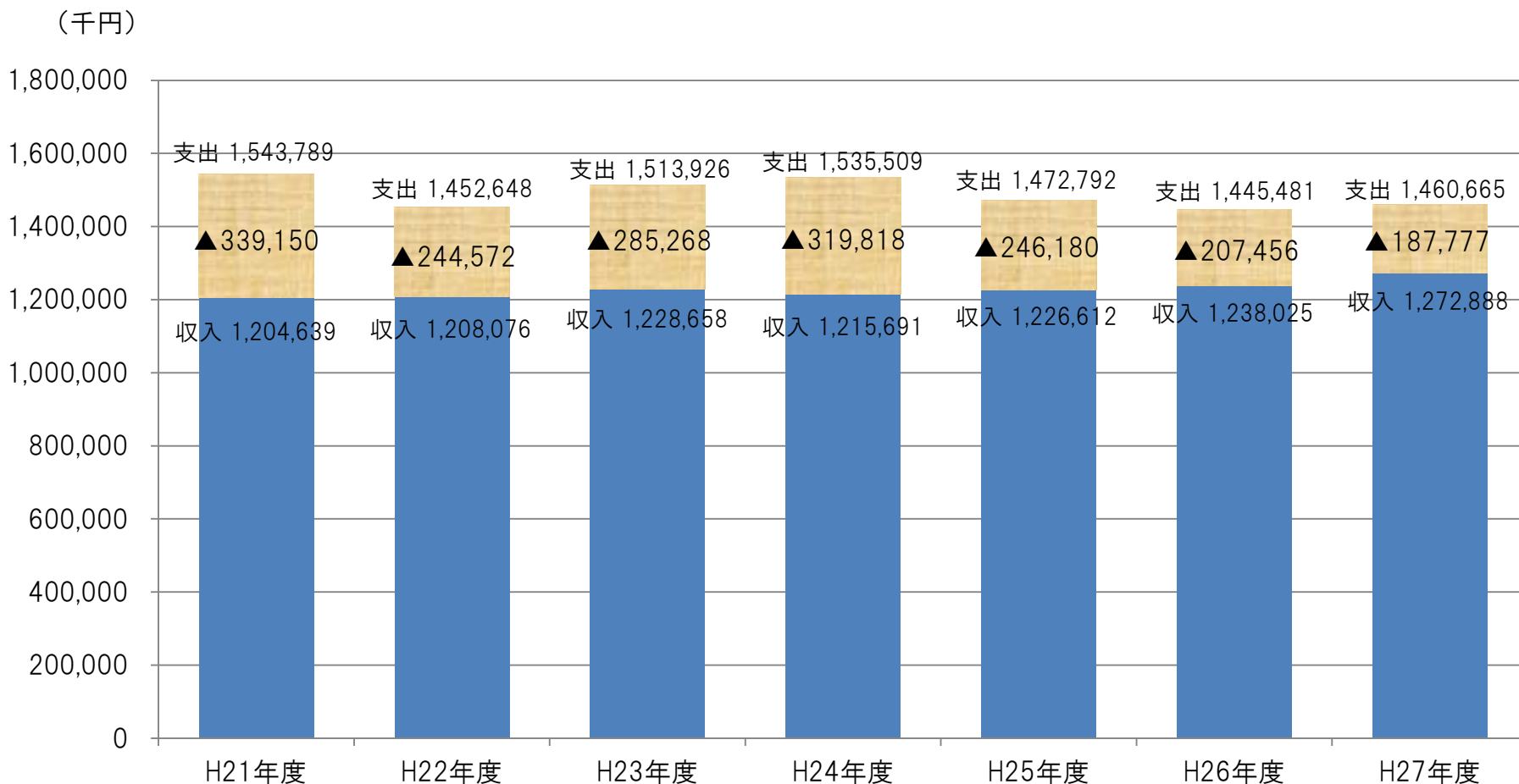
## ○2区間運賃収入について

【例】天王寺～大小路の場合



# 欠損額（堺市補助なし）の推移について

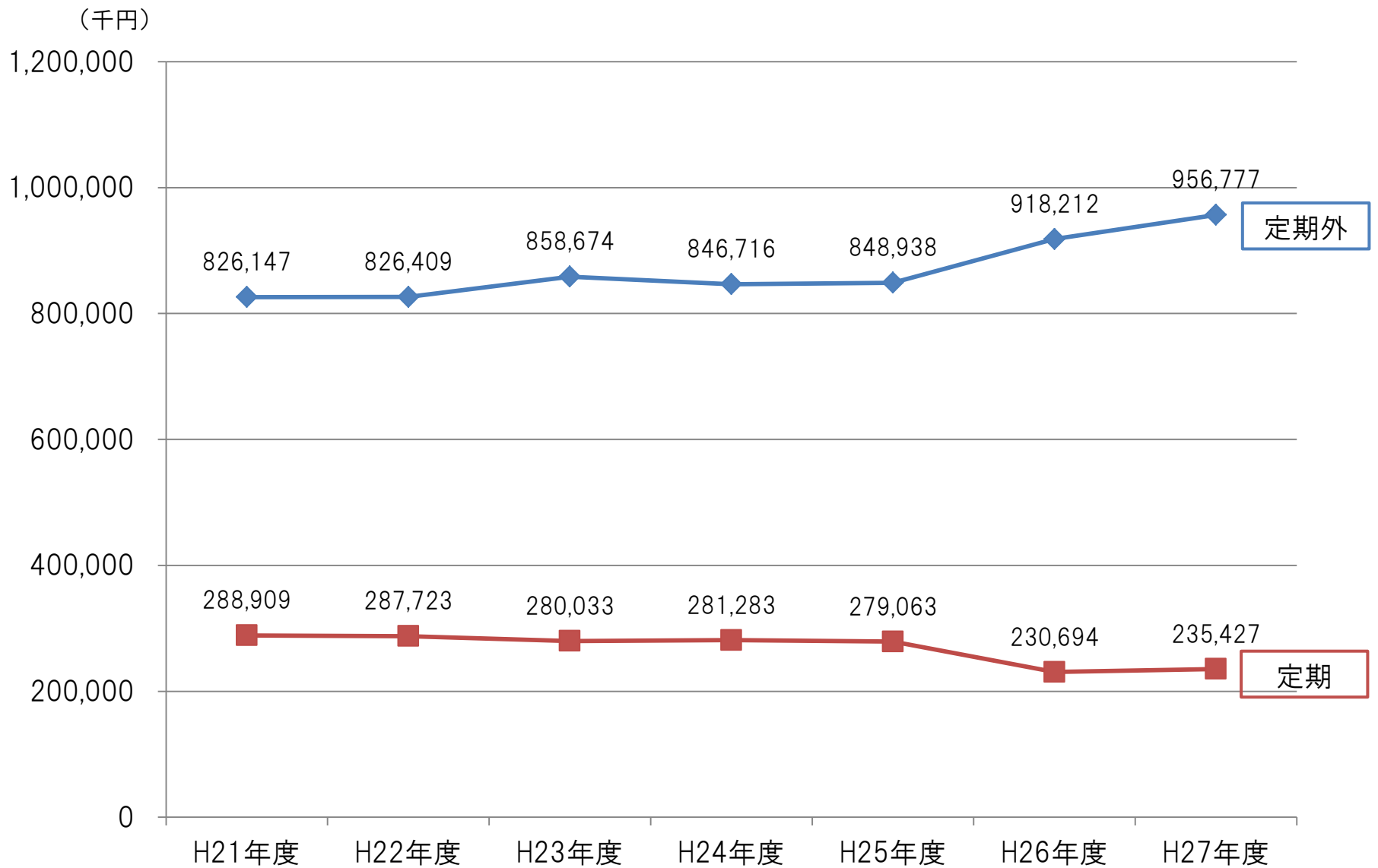
- ・ 阪堺全線の欠損額は、収入が増加傾向にあり、支出が減少傾向になっているため、支援策前より大幅に改善されている。
- ・ 平成27年度は、平成21年度以降最も収入が多く、阪堺全線の欠損額は最少となっている。



堺市内 欠損額	204,044 (千円)	203,973 (千円)	213,958 (千円)	231,094 (千円)	181,521 (千円)	193,866 (千円)	184,183 (千円)
大阪市内 欠損額	135,106 (千円)	40,599 (千円)	71,310 (千円)	88,724 (千円)	64,659 (千円)	13,590 (千円)	3,593 (千円)

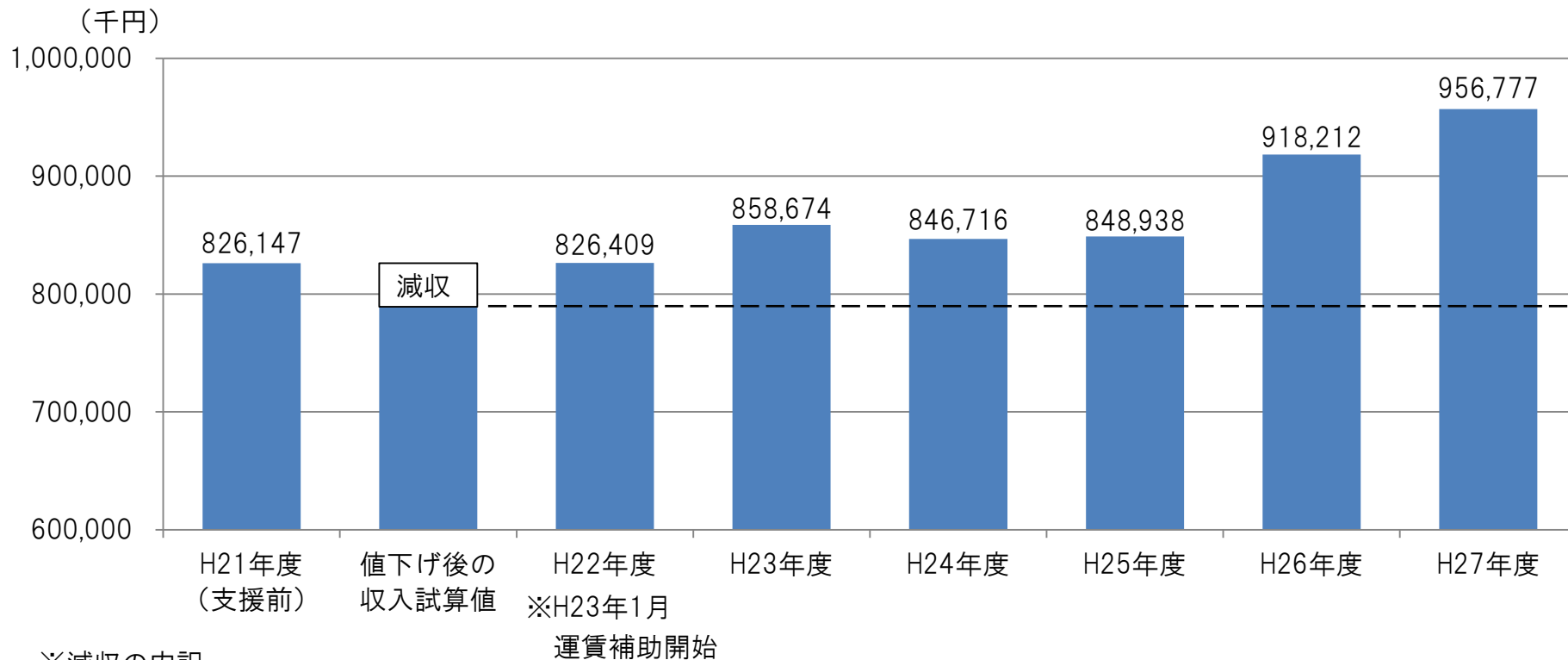
# 旅客運輸収入（堺市補助なし）の推移について

・平成26年度以降交通系ICカードへの転換により、定期の収入が減少し、定期外の収入が増加している。



## 定期外旅客運輸収入（堺市補助なし）の推移について

- ・ 阪堺全線の定期外運輸収入は、支援策による運賃値下げに伴う収入減以上の収入増加となっている。
- ・ 平成24年度は、高齢者割引利用者増加に伴い、収入が減少している。
- ・ 平成26年度以降、高齢者割引拡充に伴う減収以上の利用者増加及びICカード導入により、収入が増加している。



### ※減収の内訳

- ・ 堺市内・大阪市内区間の均一運賃化による減収

(H23年1月～H27年1月) 290円→200円 90円/人の減収、(H27年2月～) 290円→210円 80円/人の減収

- ・ 高齢者利用割引による減収

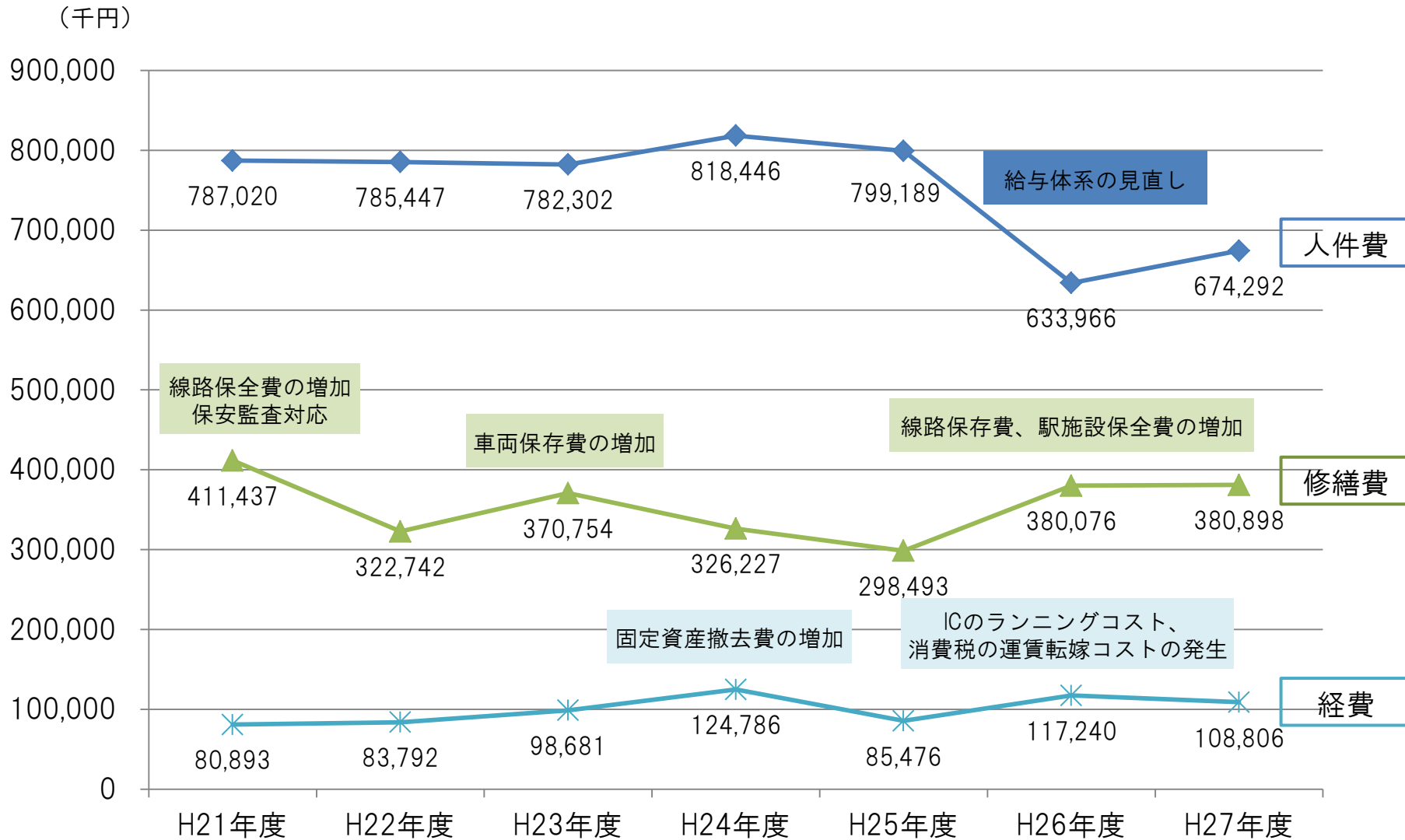
1 区間利用時：(H23年1月～H27年1月) 200円→100円 100円/人の減収

(H27年2月～) 210円→100円 110円/人の減収

2 区間利用時：(H23年1月～) 290円→100円 190円/人の減収

# 人件費等の支出（堺市補助なし）の推移について

- ・ 阪堺全線の人件費、修繕費、経費の支出合計は、減少傾向にある。
- ・ 平成27年度は、平成26年度に比べて、人件費が増加し、修繕費は横ばい、経費は減少している。



## 年間総車両走行キロあたりの収支について

- ・年間総車両走行キロ数が支援策前より減少傾向にある中で、年間総車両走行キロあたりの旅客運輸収入は増加している。
- ・年間車両走行キロあたりの費用に占める収入割合は増加傾向にある。

### 車両走行キロあたりの旅客運輸収入

	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度
年間総車両走行キロ（千km）	1,583	1,574	1,579	1,568	1,534	1,465	1,464
旅客運輸収入（千円）	1,115,057	1,114,133	1,138,707	1,128,000	1,128,001	1,148,907	1,192,205
年間総車両走行キロあたり 運輸収入（円/km）	704	708	721	719	735	784	814

### 車両走行キロあたりの営業費用

	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度
年間総車両走行キロ（千km）	1,583	1,574	1,579	1,568	1,534	1,465	1,464
営業費用（千円）	1,543,789	1,452,648	1,513,926	1,535,509	1,472,792	1,445,481	1,460,665
年間総車両走行キロあたり 営業費用（円/km）	975	923	959	979	960	987	998

### 年間総車両走行キロあたりの費用に占める収入割合

H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度
0.72	0.77	0.75	0.73	0.77	0.79	0.82



- ・年間2億円を上限に利用者拡大策と運行継続に必要な経常的経費に支援を行っている。
- ・平成27年度は、ゾーンチケットへの支援と高齢者利用割引への支援が増加している。

## 1. 利用者拡大策への支援

### （1）ゾーンチケットへの支援

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
実績額	487千円	454千円	317千円	463千円	1,246千円

### （2）高齢者利用割引への支援

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
実績額	9,395千円	12,029千円	27,811千円	45,019千円	58,207千円

### （3）堺市内・大阪市内区間の均一運賃化への支援

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
実績額	64,212千円	63,265千円	66,718千円	68,798千円	58,302千円

## 2. 運行の継続に必要な経費への支援

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
実績額	120,000千円	120,000千円	100,000千円	72,000千円	70,000千円

# 阪堺線（堺市内区間）の高度化、老朽化対策のための支援について

- ・ 10年間で30億円を高度化による利便性の向上と老朽化に伴う施設の改修に対する経費に支援を行っている。
- ・ 平成27年度は、老朽化対策への支援が増加している。

## 1. 高度化による利便性の向上

### (1) 低床式車両の導入

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
実績額	10,020千円 (設計費)	234,000千円 (車両導入費)	249,600千円 (車両導入費)	249,600千円 (車両導入費)
(国補助)	-	81,333千円	83,200千円	83,200千円
(市補助)	-	152,667千円	166,400千円	166,400千円

### (2) 停留場の増設、機能改善

	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
実績額	18,478千円	30,715千円	148,257千円	115,930千円
(国補助)	-	-	45,900千円	16,883千円
(市補助)	-	-	102,357千円	99,047千円

※平成26年度は石津北停留場新設費など

※平成27年度は宿院停留場改修費

### (3) ICカードの導入

	平成25年度	平成26年度
実績額	161,335千円	30,000千円
(国補助)	52,900千円	-
(市補助)	108,435千円	30,000千円

※平成26年度はおでかけ応援ICカードのシステム費

## 2. 老朽化対策

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
実績額	222,034千円	181,411千円	90,034千円	87,078千円	179,830千円
(国補助)	45,418千円	59,617千円	30,012千円	32,078千円	59,115千円
(市補助)	176,616千円	121,794千円	60,022千円	55,000千円	120,715千円